

Google ミートを用いた 島外の中学生との遠隔交流授業

①話・や

①統合

②協・遠

③タブ

【ここがポイント！】

④Google ミート

①「Google ミートを使ったやり取り」

Google ミートを活用し、他市町の生徒と英語でやり取りをする。オンラインを利用したやり取りであるため、生徒の緊張も軽減され、意欲的に活動に取り組む姿勢が見られる。

②「端末の検索機能を活用した書く活動」

生徒に英作文をさせる際、英語学習サイトの検索フォームを活用して未習の表現（語句）を調べる。これまで使用していた中学生向けの紙の辞書では収録語数に限りがあったが、タブレットであれば自分が言いたい表現をいつでも調べることができる。

【実践の目標】

島外の中学生に対して、自分に関することをわかりやすく説明したり、相手の自己紹介を聞いて質問したりすることができる。

【実際の場面】

1. 自己紹介文を考える

自己紹介作成シートをもとに、自己紹介の英文を書いた。（部活動、習い事、好きなもの、好きな有名人、興味のあること、住んでいる地域の紹介など）基本的には提示した例文を参考にして英文を作成させた。わからない表現については、英語学習サイトの検索フォームを活用した。

2. 自己紹介文を推敲する

初対面の相手にあてた自己紹介文としてふさわしい内容となるように、自己紹介文を繰り返し読み、英文を加筆修正した。その後、ペアで互いの自己紹介文を聞きあい、それぞれの内容についてアドバイスを出し合って、さらに自己紹介文を推敲した。

3. 自己紹介の練習をする

各自作成した自己紹介文をもとに、ペアで自己紹介の練習をした。その後、ペアの生徒に質問をもらい、即興的に質問に答える練習を行った。

4. 島外の中学生と遠隔交流

Google ミートを活用して、遠隔で自己紹介を行った。5～7人でグループを構成し、グループ内で自己紹介をしたり、相手の生徒へ質問をしたりした。

5. アンケートを取る

後日、Google フォームを使って、自己紹介と質問に関して自己評価と他者評価を行った。

【成果と課題】

【成果】

○Google ミートを活用したやり取りは、生徒の英語でやり取りをすることへのハードルを下げ、多くの生徒が意欲的に活動に取り組むことができていた。

【課題】

○一斉に Google ミートの機能を使うことにより、グループに入ることができないといった接続に関する不具合が生じた。今後も継続的にタブレットを授業で使用し、機能に慣れていることが必要である。

大崎上島町立大崎上島中学校

